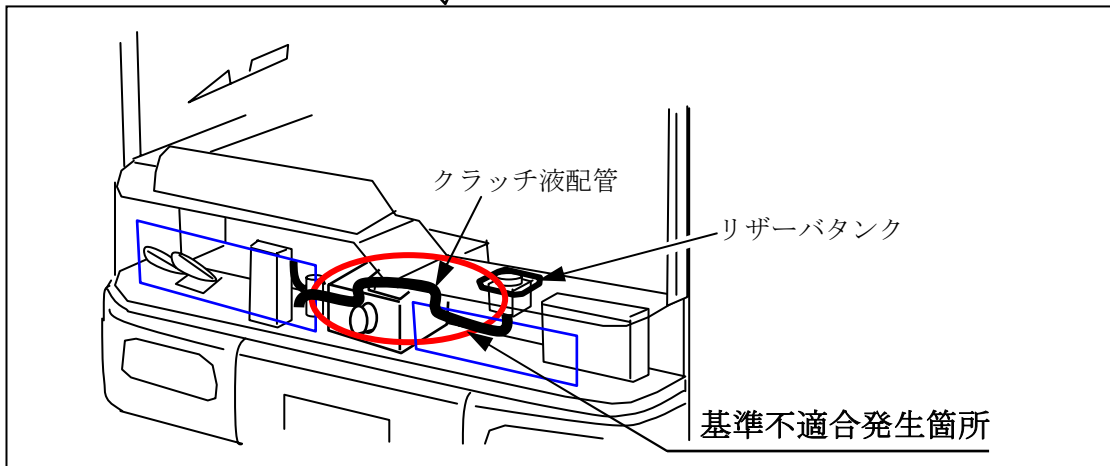
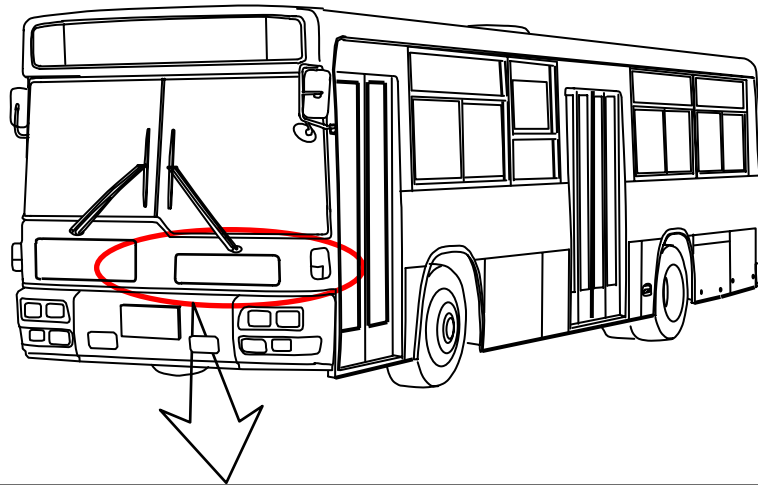
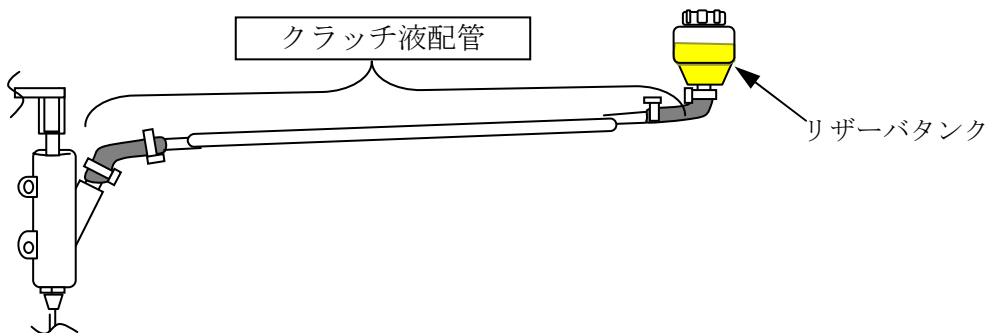


改善箇所説明図



クラッチ液を蓄えるリザーバタンクの配管の構造が不適切なため、クラッチ液交換の際、当該配管内に空気が残留するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、クラッチ液の圧力配管内に空気が混入し、クラッチの切れ不良となり、最悪の場合、変速操作ができなくなるおそれがある。

改善の内容
全車両、クラッチ液のリザーバタンクの配管を対策品と交換する。



注：□内は、交換部品を示す。

識別：リザーバタンク部に、白色ペイントを塗布する。